



平成 26 年 11 月 4 日

各 位

会社名 青山商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 青山 理
兼執行役員社長
(コード番号 8219 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 宮武真人
兼専務執行役員
(TEL 084-920-0050)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

<個別業績予想数値の修正>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 5 月 9 日)	72,100	300	1,200	500	8 円 28 銭
今回修正予想(B)	69,777	916	2,320	1,205	20 円 59 銭
増減額(B-A)	△2,323	616	1,120	705	—
増減率(%)	△3.2	205.3	93.3	141.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	71,552	2,765	4,170	2,418	39 円 77 銭

<連結業績予想数値の修正>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 5 月 9 日)	91,900	1,100	1,400	400	6 円 63 銭
今回修正予想(B)	89,641	1,646	2,648	1,234	21 円 08 銭
増減額(B-A)	△2,259	546	1,248	834	—
増減率(%)	△2.5	49.6	89.1	208.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	89,568	3,635	4,611	2,475	40 円 72 銭

2. 平成27年3月期 通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

<個別業績予想数値の修正>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月9日)	187,000	19,300	20,900	12,300	203円77銭
今回修正予想(B)	181,600	17,000	19,100	10,800	184円48銭
増減額(B-A)	△5,400	△2,300	△1,800	△1,500	—
増減率(%)	△2.9	△11.9	△8.6	△12.2	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	185,709	21,063	23,613	13,781	228円32銭

<連結業績予想数値の修正>

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月9日)	228,500	21,000	22,200	12,700	210円40銭
今回修正予想(B)	222,200	18,600	20,400	11,100	189円60銭
増減額(B-A)	△6,300	△2,400	△1,800	△1,600	—
増減率(%)	△2.8	△11.4	△8.1	△12.6	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	222,139	22,590	24,650	12,962	214円75銭

3. 修正の理由

《第2四半期累計期間》

<個別業績予想>

(1) 売上高

中核事業でありますスーツ事業において、一都三県を中心とした着実な出店、移転等によりマーケットシェア拡大を図ってまいりました。しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や猛暑であった昨年と比較して気温が低く推移したことなどの天候不順、消費税増税に伴う消費マインドの冷え込みなどにより、既存店売上高が前年同期比94.1%と、前回予想（前年同期比97.0%）を下回ったことなどから、売上高は前回予想を下回る見込みであります。

(2) 営業利益

経費削減努力や経費の一部下期へのずれ込み等により、営業利益は9億16百万円と前回予想を上回る見込みであります。

(3) 経常利益、四半期純利益

「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価益が3億46百万円と、前回予想のデリバティブ評価益70百万円を上回る見込みであることなどから、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を上回る見込みであります。

<連結業績予想>

(1) 売上高

個別が前回予想を下回る見込みであることなどから、連結につきましても前回予想を下回る見込みであります。

(2) 営業利益、経常利益、四半期純利益

個別が前回予想を上回る見込みであることなどから、連結につきましても前回予想を上回る見込みであります。

《通期》

＜個別業績予想＞

スーツ事業につきましては、下期には、引き続き一都三県を中心とした着実な出店、移転等によりマーケットシェア拡大を図るとともに、「洋服の青山」において創業 50 周年の記念セールを開催するなど、積極的な売上増加施策を実施してまいります。しかしながら、期初に見込んだ前期の駆け込み需要の剥落などに加え、上期に引き続き消費税増税に伴う消費マインドの冷え込みが予想されることなどから、下期のスーツ事業の既存店売上高は前年同期比 95.0%と前回予想（前年同期比 98.0%）を下回る見込みであり、通期では前年同期比 94.6%となる見込みであります。こうしたことなどから、通期の営業利益につきましては 170 億円と前回予想を下回る見込みであります。

＜連結業績予想＞

個別の通期業績予想が上記のとおりであることなどから、通期の連結業績予想は、売上高 2,222 億円、営業利益 186 億円、経常利益 204 億円、当期純利益 111 億円と予想しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上